

# V-HORIZON ELMO

## 取扱説明書

### カラー CCDカメラ

### 品番 NSV-WD900V

ご使用前にこの取扱説明書、および別紙の「安全上のご注意」をよくお読み  
のうえ正しくお使いください。  
また、後々のために大切に保管してください。

#### ■仕様

テレビジョン方式	NTSCテレビジョン方式準拠
走査方式	525TV本、60フィールド/秒
撮像素子	1/3インチCCD固定画像素子
有効画素数	768(水平)×494(垂直)
同期方式	内部同期
解像度	水平：480TV本
映像信号出力レベル	1.0 Vp-p /75 Ω,コンポジット(DC電源重畳、BNC接続)
映像S/N比	50dB以上
最低被写体照度	約1.0 lx(F1.4レンズ)
内蔵レンズ	パリアフォーカルレンズ、ズーム/フォーカス手動調整可 F1.4~2.0、f=2.6~6mm
フリッカレス	ON/OFF手動切換(ON時：1/100秒電子シャッター)
ホワイトバランス	自動(ATW/ATW-A)
AGC	ON/OFF手動切換
ワイドダイナミックレンジ	OFF/ON(54dB Typical)手動切換
パン/チルト調整	手動パン(±180°)、手動チルト(±60°)
使用条件	温度：-10℃~+40℃ 湿度：90% RH
防水仕様	IP66
電源	別売のVP多重電源ユニットによりDC電源供給(VS重畳方式)
消費電力	4W
質量	約850g

外観および仕様はお断りなしに変更する場合がありますのでご了承ください。

製品のお問い合わせは、最寄りの弊社支店または営業所へ

<b>本社</b> 名古屋市瑞穂区明前町6番14号 ☎(052)811-5131 ☎467-8567
<b>東京支店</b> 東京都港区三田3丁目12番16号 山光ビル4階 ☎(03)3453-6471 ☎108-0073
<b>名古屋支店</b> 名古屋市瑞穂区明前町6番14号 ☎(052)824-1571 ☎467-8567
<b>大阪支店</b> 大阪市中央区東高麗橋2番4号 ☎(06)6942-3221 ☎540-0039
<b>九州支店</b> 福岡市博多区冷泉町2番8号 朝日プラザ祇園2階 ☎(092)281-4131 ☎812-0039
<b>仙台営業所</b> 仙台市青葉区北目町1番18号 ヒースビル北目町4階 ☎(022)266-3255 ☎980-0023
<b>広島営業所</b> 広島市中区小町5番8号 ドルチェ 2階 ☎(082)248-4800 ☎730-0041

URL: <http://www.elmo.co.jp>

## 保証と修理サービスについて

この商品は取扱説明書(本書)が保証書を兼ねております。所定事項の記入  
および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- 保証期間中に修理を依頼されるときは、お買上げの販売店にご連絡ください。保証書の記載内容により、販売店が修理いたします。
- 補修用性能部品について  
当社ではこの製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。
- 〈ご連絡していただきたい内容〉  
・ご住所・ご氏名・電話番号・製品名・型名・ご購入日(保証書をご覧ください)・故障内容・異常の状況(できるだけ詳しく)
- 保証期間経過後、修理を依頼されるときは、お買上げの販売店にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により、有料で修理いたします。
- 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な点は、お買上げの販売店にお問い合わせください。

商標について

「ELMO」は株式会社エルモ社の登録商標です。その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

1AC6P1P3316-  
L5BN1/JPEL(O308EL-CP)

<b>ELMO</b>	
<b>品質保証書</b>	
お名前	殿
ご住所	品名 <b>NSV-WD900V</b> 型名 機体番号
	ご購入日 年 月 日
本保証書は弊社の品質管理のもとに製造され 諸検査に合格して出荷されたものであること を証明するものであります。	
保証期間 : 1 年	
<b>株式会社 エルモ社</b> 名古屋瑞穂区明前町6-14 ☎052-811-5131	

※保証内容につきましては下記規定をごらんください

#### 【保証規定】

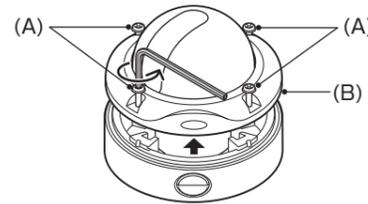
- 本製品が万一故障した場合は、ご購入日から1年間  
無料修理を致しますので、お買上げ店か取扱説明  
書に記載されている当社サービス機関にお申し出く  
ださい。  
尚、お買上げ店または当社サービス機関にご持参  
いただく際の諸費用は、お客様にご負担願  
います。また、お買上げ店と当社間の運賃諸掛りに  
つきましては、輸送方法によって一部ご負担いた  
だく場合があります。
- 次の場合は、上記期間内でも保証の対象とはなり  
ません。  
(1) 使用上の誤まり(取扱説明書以外の誤操作等)に  
よる生じた故障  
(2) 当社の指定する修理取扱い所以外で行われた修理、  
改造、分解掃除等による故障および損傷  
(3) 火災、地震、ガス害、地震、風水害、公害、落雷、  
異状電圧およびその他の天災地変等による故障および  
損傷  
(4) お買上げ後の輸送、移動、落下保管上の不備等  
による故障および損傷  
(5) 本保証書の添付のない場合  
(6) 販売店名、ご購入年月日等の記載事項を訂正さ  
れた場合
- 本製品の故障に起因する付随的損害については補償  
致しかねます。  
※ ご注意  
1. 本保証書は、以上の保証規定により無料修理をお

- 東するもので、これによりお客様の法律上の権利を  
制限するものではありません。
- 本保証書の表示について、ご不明な点は取扱説明  
書に記載されている当社サービス機関にお問い合わせ  
ください。
  - 本保証書は日本国内においてのみ有効です。  
【アフターサービスについて】  
1. 修理完了品には、当社より修理明細書(修理伝票)  
が発行されますので、修理品をお受け取りの際ご確  
認ください。  
2. 部品の保有期間等アフターサービスに関する事項に  
ついては、取扱説明書に詳しく記載されております  
のでごらんください。又は最寄りの弊社営業所へお  
問い合わせください。  
3. 保証期間経過後の修理等についてのお問い合わせは、  
取扱説明書に記載されているお近くの当社サービス機  
関をご利用ください。

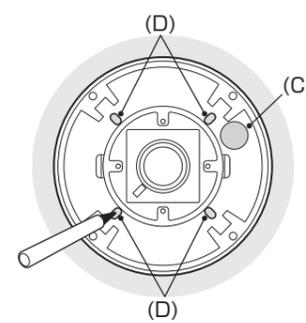
## 1 設置のしかた

### 準備

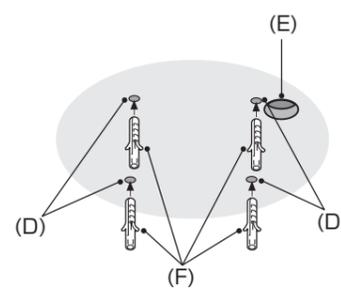
- レンチ(大：付属)で、固定ネジ(A)を  
完全にゆるめドームカバー(B)をはず  
す



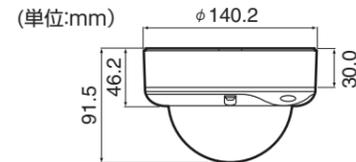
- 設置面に本機を合わせてケーブル用穴  
(C)と設置用ネジ穴(D：4点)に印を付  
ける



- ケーブル用の穴(E)を空け、設置用ネ  
ジ穴(D：4点)を空けアンカー(F)を打  
ち込む



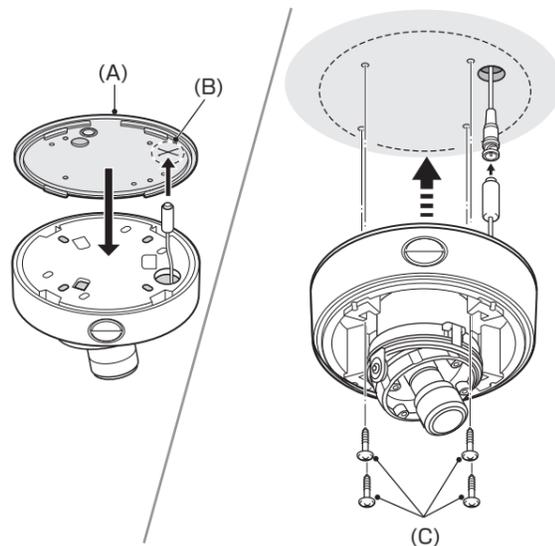
#### ■外形寸法図



- 付属の設置シート(Mounting template)を使用することもできます。
- 設置用ネジ穴は、別売の取付けブラケットを使用する場合は、ネジ穴位置が異なりますので  
ご注意ください。

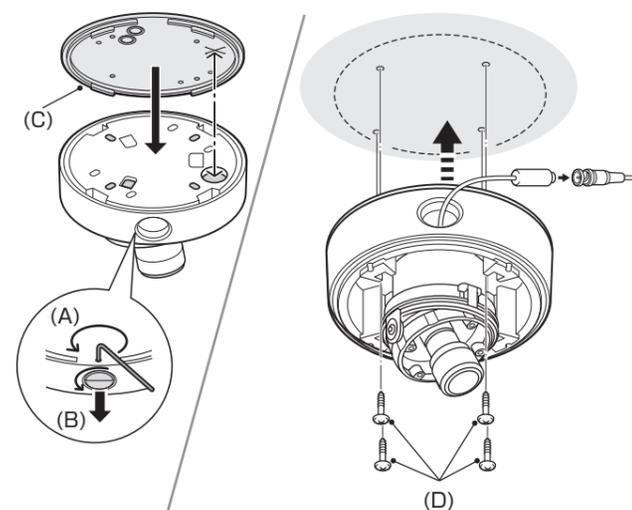
### 天井内または壁面内に配線する場合

- クッションシート(A)のケーブル用穴(B：“X”)に切り込み  
を入れ、接続ケーブルを通して天井からのケーブルと接続  
してシートを装着する
- 本機を天井に合わせてネジ(C)で固定する



### 天井面または壁面に配線する場合

- 底面の固定ネジ(A)をレンチ(中：付属)でゆるめ、コイン  
などで蓋(B)を開けて接続ケーブルを通す
- クッションシート(C)を装着する
- 本機を天井に合わせてネジ(D)で固定する

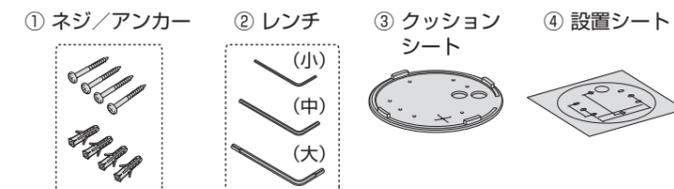


裏面につづく ▶▶▶

### ⚠ お守りください

- 天井や壁に本機を取り付ける際の穴空けなどは、注意しておこなって  
ください。また、配線用の電源・映像ケーブルなどは設置しやすいように  
引き出しておいてください。
- 本機を設置する際は、天井や壁などに対する防水処理を正しくおこな  
ってください。
- 本機の総重量を考慮して、平面で耐久性がある天井や壁をお選びください。
- 本機は、-10℃~+40℃の環境に設置してください。(結露なきこと)
- 静電気による破損を防ぐため、本機に触れる前に身近な金属(ドアノブ  
など)に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。

#### ■付属品



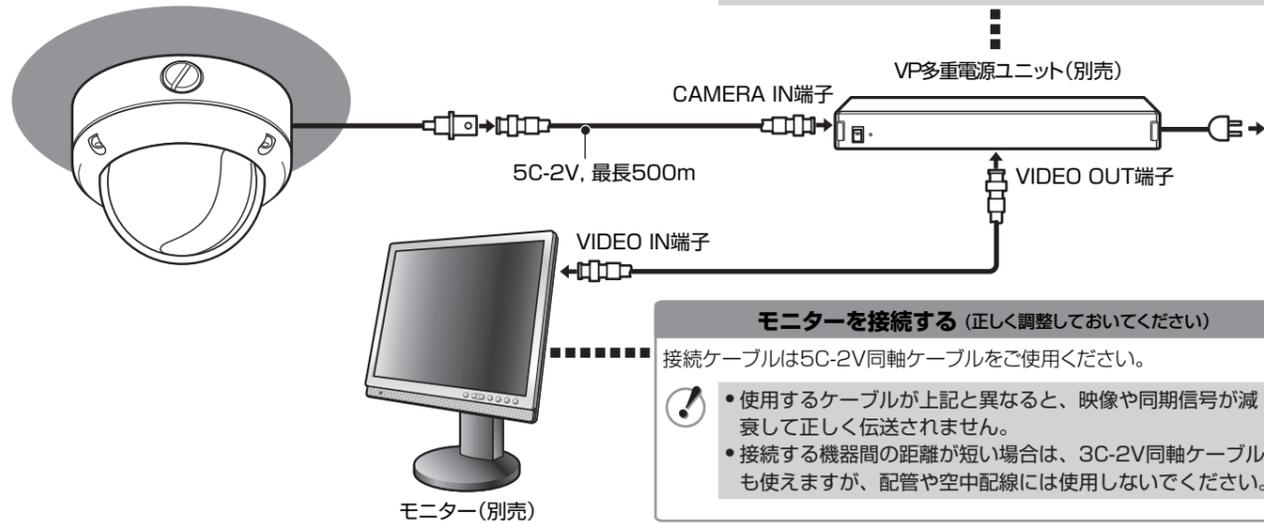
## 2 接続のしかた

すべての接続が完了するまで、電源を入れないでください。

### 同軸ケーブル（電源・映像供給）で操作する場合

カメラへの電源供給は別売のVP多重電源ユニットが必要です。

⚠ CAMERA IN端子からはDC電圧が出力されています。間違えて接続すると、接続している機器を破損することがあります。

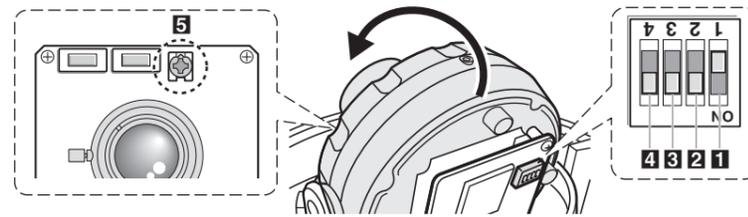


#### モニターを接続する（正しく調整しておいてください）

- 接続ケーブルは5C-2V同軸ケーブルをご使用ください。
- 使用するケーブルが上記と異なると、映像や同期信号が減衰して正しく伝送されません。
  - 接続する機器間の距離が短い場合は、3C-2V同軸ケーブルも使えますが、配管や空中配線には使用しないでください。

モニター（別売）

## 3 カメラの調整・設定



#### 1 フリッカ(ちらつき)の補正

東日本(電源周波数50Hz)地域の蛍光灯照明下でのちらつきを補正します。  
ON : ちらつきを少なくする  
OFF : ちらつきを現状とする

#### 2 ホワイトバランスの設定

ON(ATW-A) : [OFF : (ATW)]のホワイトバランスより色温度の範囲が広がる  
OFF(ATW) : ホワイトバランスを自動的に設定する

#### 3 ダイナミックレンジの設定

屋内と屋外など明るさに差がある場所は同時に監視することができます。  
ON : 明るさの異なる被写体を監視するとき  
OFF : 被写体の監視に影響しないとき

#### 4 AGCレベルの設定

暗い場所などでの感度(AGC)を設定します。  
ON : 標準設定  
OFF : 固定ゲイン設定

#### 5 アイリスレベルの設定

監視中の映像の明るさを程よい明るさに調整をします。  
右回り : 映像が暗くなる  
左回り : 映像が明るくなる

※選択項目の太字は初期値です。

#### ■ AGC(Auto Gain Control)とは

カメラの映像信号の大きさ(ゲイン)を被写体の明るさに応じて最適なレベルに自動調整する機能です。

#### ■ ダイナミックレンジ(明暗差)とは

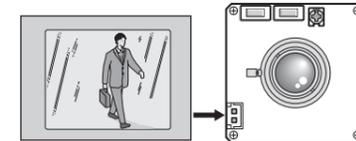
昼間の太陽光や西日などの影響を受けやすい窓や出入り口が背景にある室内など、画面内の明暗差が極端に大きい条件では、映像の明るい箇所は白くとび、暗い箇所では沈みこむことがあります。  
ワイドレンジを設定すると、高速シャッターで撮影した映像(明るい被写体が鮮明)と低速シャッターで撮影した映像(暗い被写体が鮮明)を瞬時に合成しますので、このような明暗差が大きい条件の映像をはっきりと自然にみることができます。

#### ■ アイリスレベルについて

非常に明るい光源下では、レンズに入る光量の調整ができなくなり、画面に明るい帯(スミア)が入るなどの現象が起こる場合があります。照明の角度を変えるなどで光量を落とすと効果があります。蛍光灯の照明下で被写体の映像がちらつく場合は、白熱灯に交換してください。

#### ■ 簡易モニターで調整状態を確認する

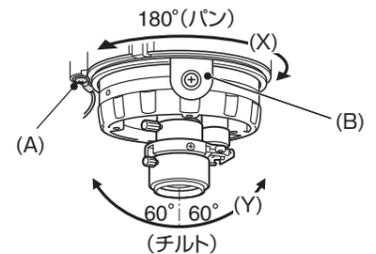
専用のケーブルにて接続ください。  
(専用のケーブルについては、お買い上げの販売店が最寄りの弊社支店、営業所まで、お問い合わせください。)



設定や調整が完了したら、必ず接続をはずしてください。

#### ■ カメラアングルの調整

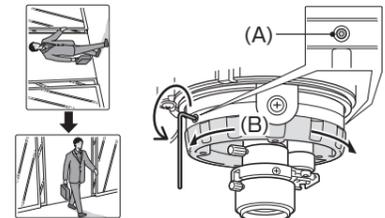
- 1 落下防止ケーブル(A)を緩め、チルト調整ネジ(B)を緩める
- 2 パン(X)とチルト(Y)を調整する



- カメラのアングルなどを調整するときは、レンズ部に触れないでください。
- 調整後は落下防止ケーブルネジとチルト調整ネジは完全に締め付けてください。

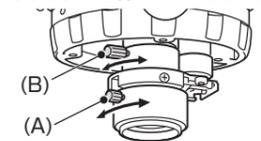
#### ■ 映像が正しく映ってない場合

レンチ(小: 付属)で2箇所のネジ(A)をゆるめ、映像を確認しながら回転部(B)を回す終了後はネジを締めてください。



#### ■ ズームとフォーカスの調整

- ズーム : ネジ(A)を緩め、レバーネジを左右にまわす
  - フォーカス : ネジ(B)を緩め、レバーネジを左右にまわす
- 調整後は共にネジを締めてください。



## 故障かな?と思ったら

修理を依頼される前にもう一度、次の項目に従って点検してください。

それでも正常に動作しないときは、お買い上げ販売店または工事店に設定調整をご依頼ください。

#### ■ 映像が出ない

- カメラ :
- 同軸ケーブルは正しく接続されていますか?
  - 照明は適正ですか?
  - 5 アイリスレベルの設定は正しく調整されていますか?

#### VP多重電源ユニット :

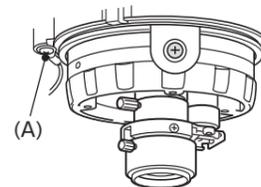
- 電源が入っていて、電源電圧も正常ですか?

#### ■ 映像がはっきりしない

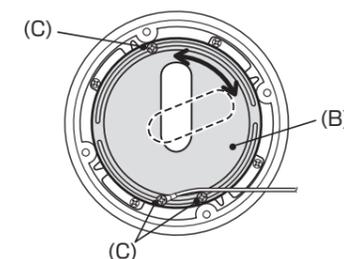
- カメラ : レンズが汚れていませんか?
- レンズにほこりや指紋が付くと、映りが不鮮明になります。その場合は、柔らかい布や市販のレンズ用クリーニングペーパーなどで軽く拭きとってください。
  - ドーム部は傷が付きやすい材質で出来ていますのでドーム部を清掃する場合はドーム部に傷を付けないよう柔らかい布で汚れを軽く拭きとってください。
  - レンズのピントは合っていますか?
- VP多重電源ユニット :
- ケーブル長補償調整はしましたか?

## カメラ調整後...

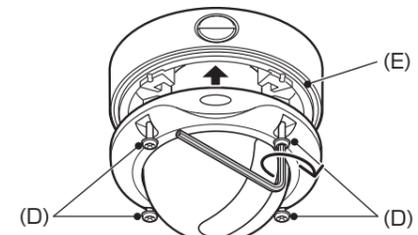
- 1 落下防止ケーブル(A)のネジを完全に締め付ける



- 2 ドームカバーを本機に被せ、ドームライナー(B)のカメラ窓がレンズ部を遮っている場合は、ネジ(C)3箇所をゆるめ、ドームライナーを調整する。調整後は各ネジを締め付ける



- 3 ドームカバーを被せて、固定ネジ(D)をレンチ(大: 付属)で締め付ける



防水性を確保する為、防水用パッキン(E)に異物の挟み込みがなく、固定ネジ(D)が確実に固定されていることをご確認ください。